

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	10	05	01	104360	芸術文化推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	1	芸術文化活動の推進			
目的	芸術に親しむ機会を提供する。					
対象	市民					
意図	市民が身近な場所で気軽に芸術文化にふれ親しむことができるように、機会を提供する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○小学生のためのアートセミナー事業 ○はなまきまるごと芸術のまち事業						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	アートセミナー開催回数	回	計画	1	2	/
			実績	1	2	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	アートセミナー参加者数	人	目標	120	120	/
			実績	94	191	
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)									
芸術文化活動の導入である児童期に芸術文化活動に対して理解と親しみを醸成させることを目的とする事業への参加状況は、将来的に市民全体の文化意識の向上がはかられると考えることから設定した。今年度夏は、平成29年3月に市指定文化財に新規登録された「成島和紙」に着目し、東和町成島地区へ出向き、和紙すきを体験し、また、新たな試みとして、紫波町のタイル工房による「タイルアート」に取り組んだ。そして、初めての冬のアートセミナーを開催することができた。内容は、「洋風しめ飾り」の制作とし、夏よりも難易度を上げ、グルーガンを使用したりして親子で取り組むこととした。その結果、小学生アートセミナーは定員を上回る参加者数となった。									
目的妥当性	<table border="1"> <tr> <th>公共関与の妥当性</th> <td>子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 妥当である</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 妥当でない</td> <td></td> </tr> </table>	公共関与の妥当性	子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。	<input type="radio"/> 妥当である		<input type="radio"/> 見直し余地がある		<input type="radio"/> 妥当でない	
公共関与の妥当性	子どもたちをはじめとする、市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現するためには、行政の関わりは重要である。								
<input type="radio"/> 妥当である									
<input type="radio"/> 見直し余地がある									
<input type="radio"/> 妥当でない									
有効性	<table border="1"> <tr> <th>成果の向上余地</th> <td>身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 向上余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 向上余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	成果の向上余地	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。	<input type="radio"/> 向上余地がある		<input type="radio"/> 向上余地がない			
成果の向上余地	身近な場所で気軽に芸術文化にふれることが可能となる。								
<input type="radio"/> 向上余地がある									
<input type="radio"/> 向上余地がない									
効率性	<table border="1"> <tr> <th>事業費・人件費の削減余地</th> <td>関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 事業費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 人件費の削減余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> どちらも削減余地がない</td> <td></td> </tr> </table>	事業費・人件費の削減余地	関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある		<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある		<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
事業費・人件費の削減余地	関係文化団体と連携を図り実施している。また、可能な限り最小限の経費で対応しており、削減の余地はない。								
<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある									
<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある									
<input type="radio"/> どちらも削減余地がない									
公平性	<table border="1"> <tr> <th>受益と負担の適正化余地</th> <td>全市民を対象とした事業であるので公平である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 適正である</td> <td></td> </tr> </table>	受益と負担の適正化余地	全市民を対象とした事業であるので公平である。	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある		<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある		<input type="radio"/> 適正である	
受益と負担の適正化余地	全市民を対象とした事業であるので公平である。								
<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある									
<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある									
<input type="radio"/> 適正である									
総合評価 …上記評価結果の総括									
創造性豊かな芸術文化の振興を図るため、感受性豊かな時期の子どもたちに対する芸術文化に関する導入機会の提供や、市民が日常的に芸術に親しめるような環境づくりの整備を行うことで、すべての市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現できるよう努めた。									

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104360	芸術文化推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,040	769		△ 271
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,040	769		△ 271

※特定財源の内訳

--

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

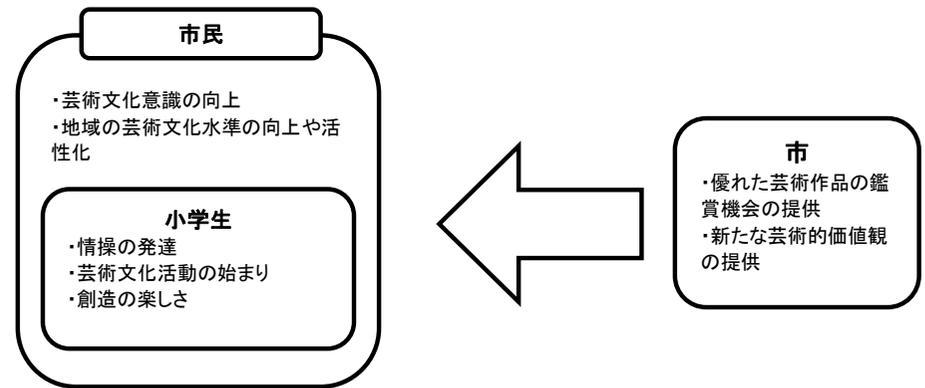
部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
芸術に親しみを持つ市民を増やす。

事業概要
○小学生のためのアートセミナー事業
○はなまきまると芸術のまち事業

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



小学生アートセミナー事業 163 千円
小学生に芸術文化に触れる導入機会を提供する
指導者謝礼56、教材費等99、通信費8

はなまきまると芸術のまち事業（ゼロ予算）
市所蔵美術品を公共団体や企業に貸し出し、市民に美術品鑑賞の場を提供し芸術文化意識の向上をはかる。

共通経費 606 千円
時間外手当488千円、報償費61、需用費58

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名	
一般	10	05	01	104370	芸術文化促進支援事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5 芸術文化の振興				
	施策	1 芸術文化活動の推進				
目的	芸術文化団体への支援					
対象	芸術文化活動を行う団体、個人					
意図	団体活動がより活発になり、市民が身近な場所で気軽に芸術文化活動に取り組むことが可能となるよう支援する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 花巻市芸術協会事業補助金 <input type="checkbox"/> 花巻市民芸術祭実行委員会負担金 <input type="checkbox"/> 花巻市芸術文化大会等出場補助金						
市民参画の有無 【 】						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援・協賛		<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成 事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	市民芸術祭開催事業数	件	計画	28	29	/
			実績	32	30	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	市民芸術祭参加者数及び入場者数	人	目標	15,000	12,000	/
			実績	12,286	14,591	
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
芸術文化活動を行う団体で組織され自主的に実施される市民芸術祭は、その参加状況により市民の芸術文化活動の度合いが推測できる。芸術団体の加盟者のみならず、個人での出品や市内高校の文化部、近隣の保育所からの出品があり、幅広い年代にわたる多くの参加者による芸術祭が実施された。また、天候、曜日にも恵まれたこともあったが、岩手県芸術祭賞受賞作品を入りに展示するなどした結果、昨年度を上回る入場者数となった。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 市民の新たな創造力や豊かな心を育むため、様々なジャンルの芸術文化活動の支援は重要となっている。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない 身近な場所で気軽に文化活動やその成果の発表ができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 団体の芸術文化活動事業内容を見極め、花巻市負担金及び補助金交付基準要綱に基づき支出するものである。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 団体の芸術文化活動事業内容を見極め、花巻市負担金及び補助金交付基準要綱に基づき支出するものである。
総合評価 …上記評価結果の総括	
市民の芸術文化活動の充実を図るため、市民芸術祭などによる文化活動の発表の場の提供や、自主的な芸術文化団体の活動へ支援を実施した。特に小・中学生や高校生などの文化活動の発表の場を設け実施することは、青年層の芸術文化活動への導入としての効果が期待されるものであり、また幅広い世代による文化的意識の交流はお互いの刺激となり、芸術文化の振興によりよい相乗効果をもたらすと予想される。 芸術文化活動の推進は、すべての市民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現していく上で引き続き実施が必要である。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104370	芸術文化促進支援事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		7,054	6,432		△ 622
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,054	6,432		△ 622

※特定財源の内訳

--

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

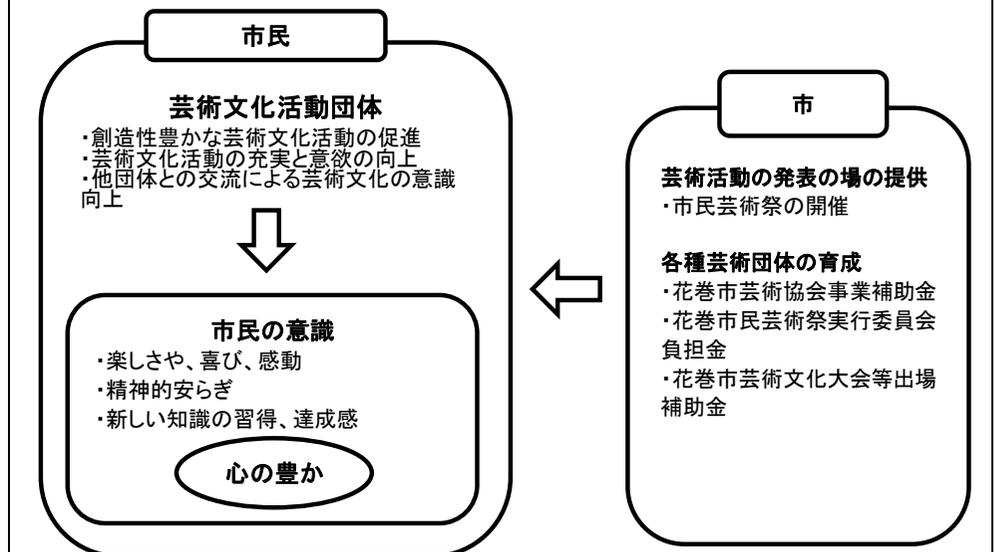
部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
芸術に親しみを持つ市民を増やす。

事業概要
○花巻市芸術協会事業補助金
○花巻市民芸術祭実行委員会負担金
○花巻市芸術文化大会等出場補助金

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



1 花巻市芸術協会事業補助金 2,416千円

[交付先]

花巻市芸術協会

(花巻芸術文化協会、大迫町芸術文化協会、石鳥谷町芸術文化協会、東和町芸術文化協会)

2 花巻市民芸術祭実行委員会負担金 3,888千円

[内容]

展示（絵画、書道、工芸、写真、華道等）、舞台（舞踊、合唱、演奏等）、茶道等の
日ごろの芸術文化活動の成果を発表

3 花巻市芸術文化大会等出場補助金 128千円

○全国高等学校総合文化祭出場補助

[開催地] 宮城県 [開催時期] 平成29年8月1日～8月4日

[出場校] 花巻北高等学校 放送部・軽音楽部、花巻農業高等学校 放送部

○NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会出場補助

[開催地] 東京都 [開催時期] 平成29年7月25日～7月27日

[出場校] 花巻北高等学校 放送部

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	10	05	04	104480	芸術文化推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5 芸術文化の振興				
	施策	1 芸術文化活動の推進				
目的	芸術文化活動の充実					
対象	市民					
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○文化会館自主事業 25,240円 ・一般鑑賞事業：5事業6公演（ぎんどうろ寄席、花巻市民劇場、演劇、音楽2）入場者数3,094人 ・団体鑑賞事業：4事業15公演（小学校低学年・高学年、中学校、高等学校）入場者数9,929人						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	一般鑑賞事業公演回数	回	計画	6	5	/
			実績	6	6	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	文化会館一般鑑賞事業に満足・ほぼ満足と回答した市民の割合	%	目標	90.0	90.0	/
			実績	89.5	86.5	
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
鑑賞者アンケート等を通じ、市民ニーズを踏まえた事業を展開することにより、概ね目標値どおりとなっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内には、民間施設での開催事業が少なく、芸術文化振興の拠点施設である文化会館において、市民に芸術鑑賞の機会を提供する必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	市民のニーズに沿った魅力ある事業を開催して、新たな鑑賞者の掘り起こしを行い、市民にとってより満足の度合いが高まることが期待できる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	充実した事業を提供するうえで、公演委託料や周知にかかる経費など事業費の削減の余地がない。 人件費においても事業対応者の経費などの見直しを行っており、これ以上の削減余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域への事業の周知や、事業鑑賞の機会を提供するため、入場料金並びに鑑賞料金として応分の負担をいただいている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
継続して多くの市民に芸術鑑賞の機会を提供するため、鑑賞者アンケート等を通じ市民ニーズを踏まえた事業の展開を図る。 文化会館施設が老朽化し、雨漏りがひどくなっていることから公演等に支障をきたすことが懸念されるため、改修が必要と考えられる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻市文化会館 担当係長 多田 広美 内線 8-224

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	04	1044800	芸術文化推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		24,202	25,240		1,038
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	14,383	14,539		156
	一般財源	9,819	10,701		882

※特定財源の内訳

自主事業公演入場料 14,539千円

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

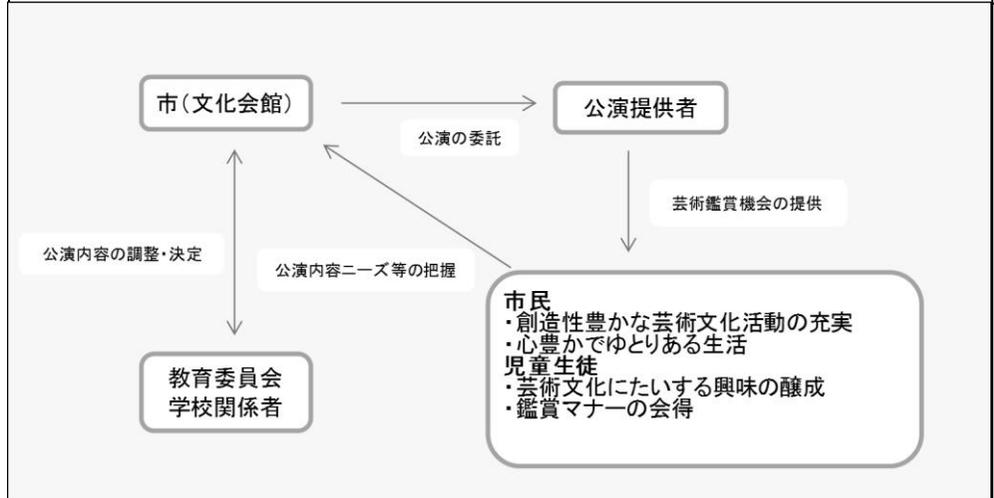
部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
昭和50年の文化会館の開館を機に、多くの市民が心豊かでゆとりある生活が送られるようにと、舞台芸術を鑑賞する自主事業が開始された。

事業概要
○文化会館自主事業
・一般鑑賞事業
・団体鑑賞事業

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
文化・芸術振興の灯を消さないためにも文化会館の老朽化対策も含め施設設備をどのように考えているのか。（H28.6伊藤源康議員の一般質問）
花巻市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら検討していく。（市長答弁）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○一般鑑賞事業費 公演委託料 12,624千円、賃金・広告料等 3,138千円

- ① 落語 「ぎんどろ寄席」 人気落語家の共演による寄席
- ② 「山形交響楽団」公演
自主事業アンケートでクラシックコンサートの要望が多い。ベートーベン等。
- ③ 「音楽の絵本」
親で楽しめるコンサートの要望が多いため、人気があるズーラシアンブラス。未就学児の入場を可とし、小さい子供が本格的な音楽に接することができる。
- ④ 「田茂神家の一族」公演
劇団東京ボードヴィルショーによる三谷幸喜の書き下ろし作品「田茂神家の一族」。佐藤B作、石倉三郎、角野卓三他の出演で村長選挙をコミカルに描く。
- ⑤ 第42回花巻市民劇場公演 市民手作りの演劇公演

○団体観賞事業費 公演委託料 9,122千円

- ① 小学校低学年団体観賞 音楽「太鼓笑人 めでたいコンサート」
- ② 小学校高学年団体観賞 音楽「PPP×岡田知之のパーカッションアンサンブル」
- ③ 中学校団体観賞 音楽「ゴスペル&ミュージックソング」
- ④ 高等学校団体観賞 演劇「ミュージカルKIJIRO!」

○事業共通経費 356千円
事業費内訳＝自主事業中止保険料、用紙・トナー等

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	04	1044800	芸術文化推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

一般鑑賞事業の内容

事業名	開催日	委託料	賃金			テレビ 広告	旅費	手数料		広告料 保険料	印刷代等	委託 駐車場	著作権料	総事業費	入場料収入		
			もぎり等	託児	ポスター			調律	券販売等						入場料	入場者	収入
ぎんどろ寄席	12/17 (日)	2,170	28	6		216			41	332	105	16		2,914	3	899	2,723
山形交響楽団	7/23 (日)	4,182	13			216			18	332	241	16	40	5,058	3	446	1,054
音楽の絵本	9/30 (土)	1,718	35			216			20	333	126	21	34	2,503	2	618	907
田茂神家の一族	10/27 (金)	3,254	20	7		216			30	333	23	69		3,952	3	596	1,775
花巻市民劇場	2/24、25 (土・日)	1,300	33						2					1,335	1	535	514
共通経費	(公演中止保険料)									230				230			
	(用紙・トナー等)										126			126			
計		12,624	129	13		864			111	1,560	621	122	74	16,118	計	3,094	6,973

団体鑑賞事業の内容

事業名	開催日	演目	提供者	委託料	入場料収入		
					入場料	入場者	収入
小学校低学年	6/1.2	和太鼓 太鼓笑人 めでたいコンサート	㈱ジョイミュージックプランニング	2,160	0.8	2,401	1,723
小学校高学年	5/25.26	PPP×岡田知之パーカッションアンサンブル	㈱東京音楽鑑賞協会	2,486	0.8	2,462	1,750
中学校	8/31.9/1	ゴスペル&ミュージカルソング	㈱ジョイミュージックプランニング	2,200	0.8	2,730	1,901
高等学校	7/5.6	ミュージカルKINJIRO!	㈱わらび座	2,276	1.0	2,336	2,192
計				9,122	計	9,929	7,566

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5 芸術文化の振興				
	施策	1 芸術文化活動の推進				
目的	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、優れた美術作品の鑑賞機会を提供する。					
対象	市民等					
意図	先人の理解を深めるとともに、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
1 企画展覧会（収蔵品展を含む）						
(1) 没後90年 萬鉄五郎展（4美術館連携） 29年4月15日～6月18日						
(2) 葉祥明－絵本文学の世界へ－展 6月24日～9月18日						
(3) 橋本正展－記憶に残るかたち・忘れられない風景－ 9月23日～11月26日						
(4) 収蔵品展 30年2月24日～3月31日						
2 市共同企画展（先人顕彰） 寺島貞志－戦後の歩み－ 29年12月2日～30年2月18日						
3 関連事業						
(1) 葉祥明展講演会1回、ギャラリートーク2回、ミュージアムコンサート（橋本展）の開催						
(2) 美術をより理解し楽しむための美術講座の開催（3回）及び出前講座1回						
(3) 美術館情報リーフレットの発行（隔月年6回）						
4 美術品収蔵施設の整備のための準備【新規】						
・旧土沢小学校新校舎の用途変更、現収蔵品の移転準備のための未整理美術資料の整理						
市民参画の有無 【 有 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	○ 事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	○ 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 実開館日数		日	計画	286	290	
			実績	278	285	
② 企画展覧会の数		展	計画	5	5	
			実績	6	5	
③ 関連事業の数		回	計画	8	5	
			実績	8	6	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 入館者数		人	目標	10,000	11,000	
			実績	11,734	12,030	
② 美術に関心を持つ人の割合		%	目標	75.0	75.0	
			実績	83.8	84.1	
③ 関連事業への参加者数		人	目標	355	250	
			実績	253	267	
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
①入館者数は、萬鉄五郎展が没後90年の節目であり、萬美術館など4館の巡回展で20年ぶりの萬の大回顧展であることから10%増の指標値としたが、当該展覧会は計画を下回ったものの、葉祥明展が大盛況となり全体では目標を上回る実績となった。		
②美術に関心を持つ人の割合は、アンケート結果によるものである。		
③関連事業は、1事業を取りやめ2事業を追加して実施したが、参加者数は目標を上回ったもののやや低調であった。年度当初で講師の調整つかず集客力のある事業の取りやめが影響している。なお、ギャラリートーク・サイン会を2回実施し484人の参加者数となったが、事業としては記載しているが一般観覧者の内数であることから事業数、参加者数ともカウントしていない		
目的妥当性	公共関与の妥当性	県内には博物館法該当の美術館は4館しかなく、本格的な美術鑑賞の機会が限定的であることから、市民等に対し身近かで安価に美術鑑賞の機会を提供するものであり、公共関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地	他の美術館の展覧会の情報を収集し、話題性の高い展覧会を企画することにより集客力や鑑賞者の満足度が高まり、成果が向上する余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地	県内には、当館と同規模の美術館はないが、県外同規模(面積)館の職員数は10名、事業費は1,500万円～1,800万円となっており、事業費、人件費とも削減の余地がなく効率的な事業となっている。
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料は、「特別展示にかかる特別入館料の基準(平成22年3月市長決裁)」に基づき、重要度、人気度(集客度)、事業費の観点から、企画展ごとに設定しており、公平性が確保されて適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
<ul style="list-style-type: none"> ・上記のとおり、平成29年度は萬鉄五郎展を主力展覧会と位置づけ重点的に経費を配分、また、岩手県立美術館と連携し入館者の増進を図ったが、計画を下回る入館実績となった。 ・親子向け、女性向け企画の葉祥明展は計画を大きく上回る入館実績となり、内容的にも高い評価を得た。 ・岩手を代表する近代作家として橋本正展、また、市の先人顕彰事業として2回目の寺島貞志展は、郷土ゆかりの作家として期待通りの入館実績と評価を得た。 ・新規事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 旧土沢小学校新校舎分の活用に向け内部検討中で、細部についてもまともつつあることから関係部署と協議の予定である。 (2) 未整理美術資料の整理終了(4,032件) 		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 萬鉄五郎記念美術担当係長 平澤 広 内線 42-4402

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		9,631	11,328		1,697
財源内訳	国・県				
	地方債	6,000	6,500		500
	その他	3,226	4,543		1,317
	一般財源	405	285		△ 120

※特定財源の内訳

入館料3,431、雑入(図録販売代金)1,112、過疎債6,500

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯
昭和59年5月に県内公立美術館第1号として開館以来、萬鉄五郎の画業を顕彰する展覧会をはじめ、岩手ゆかりの美術家や日本美術史上重要な美術家の展覧会を企画するとともに、現代美術家の育成も視野に入れ、岩手県における美術普及活動の先頭に立って事業を展開している。

事業概要

1 企画展覧会 (収蔵品展を含む)

(1) 没後90年 萬鉄五郎展 (4美術館連携) 29年4月15日～6月18日

(2) 葉祥明－絵本文学の世界へー展 6月24日～9月18日

(3) 橋本正展－記憶に残るかたち・忘れられない風景－ 9月23日～11月26日

(4) 収蔵品展 30年2月24日～3月31日

2 市共同企画展 (先人顕彰) 寺島貞志－戦後の歩み－ 29年12月2日～30年2月18日

3 関連事業

(1) 葉祥明展講演会1回、ギャラリートーク2回、ミュージアムコンサート(橋本展)の開催

(2) 美術をより理解し楽しむための美術講座の開催(3回)及び出前講座1回

(3) 美術館情報リーフレットの発行(隔月年6回)

4 美術品収蔵施設の整備のための準備【新規】

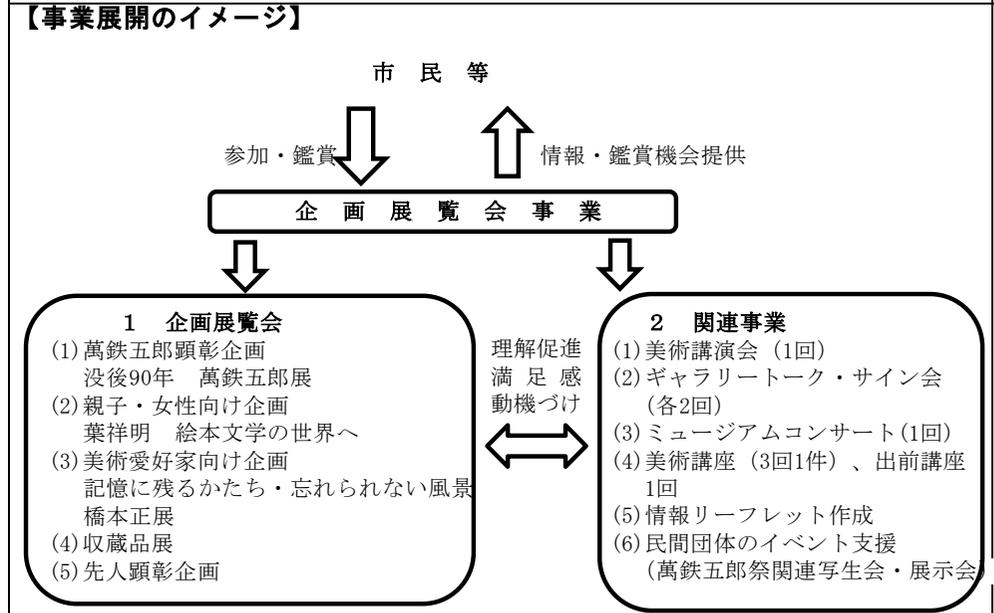
・旧十沢小学校新校舎の用途変更、現収蔵品の移転準備のための未整理美術資料の整理

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

・28年8月の市長対話の際、美術品収蔵の管理・保管に対し心配する声がある。

・美術館運営委員会では、集客力にこだわらず、公立美術館の使命にふさわしい企画展の要望がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【展覧会別事業費の内訳】 (単位：千円)

節	金額	説明	萬展	葉祥明展	橋本展	収蔵品展・共通
8	99	講師謝礼、筆耕謝礼、作品借用謝礼			99	
9	236	作品調査・借用・返却旅費	156	80		
11	3,164	消耗品(プリントロール紙、マット台紙)	225	216	157	172
		ポスター・チラシ・チケット・図録印刷	744	380	1,201	39
12	587	食糧費(関係者応接)	10	10	10	
		通信運搬費	284	114	119	62
13	4,542	動産総合保険料			8	
		展示・撤収等	78		293	375
		企画監修		2,106		
14		額装・写真撮影	166		316	
		美術館情報リーフレット等制作・発送				179
		アクリルケース等制作	534			495
19	2,700	没後90年萬鉄五郎展開催負担金	2,700			
計	11,328		4,897	2,906	2,203	1,322

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	1	芸術文化活動の推進			
目的	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、実地に美術活動に取り組む機会を提供する。					
対象	市民等					
意図	郷土の先人の理解を促進・深化させるとともに美術活動に取り組む市民を増加させる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
萬鉄五郎祭実行委員会負担金事業 1 萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 (1) 萬鉄五郎顕彰式典の開催 5月3日(水・祝日) 顕彰式典、中学生による「鉄人独語」の朗読、献花 (2) 児童等写生会及び作品展覧会 ・写生会 4月23日(萬美術館周辺) 美術愛好家及び美術館学芸員の指導により実施 ・作品展 4月25日～5月14日(東和図書館) 2 民間団体が実施する事業に対する支援 ・美術研修会(年1回)・・・監視ボランティアの養成・研修のため他美術館等を視察						
市民参画の有無 【 有 】						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定		
		<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標(上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	萬鉄五郎祭式典の実施	回	計画	1	1	
			実績	1	1	
②	児童等写生会・作品展覧会の実施	回	計画	1	1	
			実績	1	1	
③			計画			
			実績			
成果指標(上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	萬鉄五郎祭式典の参加者数	人	目標	60	60	
			実績	59	60	
②	児童等写生会の参加者数	人	目標	60	60	
			実績	74	67	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
・成果指標③は平成28年度に変更、削除。 (従来の民間団体に対する補助事業全体の参加者数から、式典と写生会・作品展覧会を市の関与がふさわしい事業を抽出して実行委員会事業とし、これらの参加者を指標値とした。したがって、成果指標のうち美術研修会等の萬鉄五郎祭関連事業への参加者数は削除。) ・式典への参加者数は、固定の関係者+一般市民等で例年通りの実績である。 ・写生会及び作品展覧会は、市内保育園、幼稚園、小学校に呼び掛けておりほぼ例年並みの実績となった。なお、同伴保護者は同数以上であるがカウントしていない。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当でない 郷土の先人を顕彰しその功績について理解を深めることや、人づくりの一環として児童等が美術活動に親しむ機会を提供することは、市として妥当な事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 写生会について、幼稚園・保育園、小学校へのより積極的なPRにより成果向上が期待できる。ただし、当日の天候次第という面があり難しい。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない 事業の実施に必要最小限の費用負担であり、また、職員の関与も技術的な指導・支援にとどめ、いずれも削減の余地の余地がない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である 式典は萬鉄五郎の事業であり受益者負担になじまない。また、写生会について適正な参加料を徴収しており公平性は確保されている。
総合評価 …上記評価結果の総括	
特になし。 平成28年度に補助事業から負担金事業に移行したことにより、市の関与すべき事業が明確となった。 一方、実行委員会の主体となる民間団体は財政的に窮迫しており、市の負担金の継続・拡大が望まれている。 実行委員会では、萬研究者や現役作家の講演会実施の意向がある。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 萬鉄五郎記念美術担当係長 平澤 広 内線 42-4402

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		240	240		
財源内訳	国・県				
	地方債	200	200		
	その他				
	一般財源	40	40		

※特定財源の内訳

地方債（過疎債）	200
----------	-----

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
芸術文化の振興を図ります。

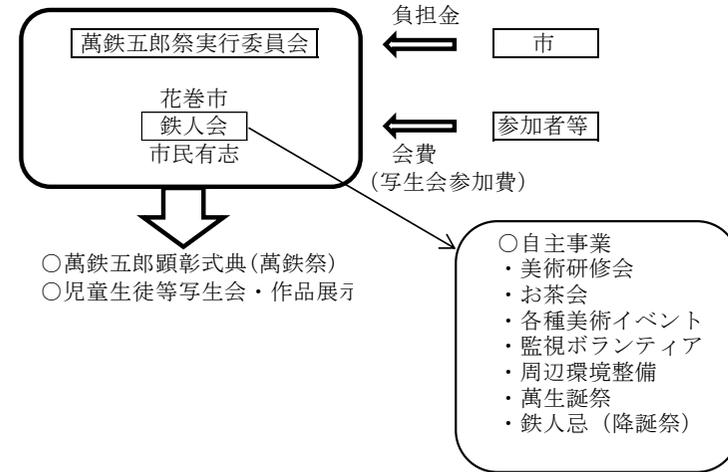
事業開始の背景・経緯
萬鉄五郎祭は、美術館建設前の昭和56年から開催。町主催事業で美術愛好団体に実施を委託、その後同団体独自の美術活動を含め補助事業に移行。平成29年度から市の関与がより望ましい事業に限定し、市が構成員となる実行委員会事業に変更した。

事業概要
萬鉄五郎祭実行委員会負担金事業
1 萬鉄五郎祭実行委員会主催事業
(1) 萬鉄五郎顕彰式典の開催 5月3日（水・祝日）
 顕彰式典、中学生による「鉄人独語」の朗読、献花
(2) 児童等写生会及び作品展示会
 ・写生会 4月23日（萬美術館周辺） 美術愛好家及び美術館学芸員の指導により実施
 ・作品展示 4月25日～5月14日（東和図書館）
2 民間団体が実施する事業に対する支援
 ・美術研修会（年1回）・・・ 監視ボランティアの養成・研修のため他美術館等を視察

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
負担金の額を、平成27年度までの補助金額と同じ250千円に増額の要望がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

<事業展開のイメージ>



【事業費・財源の内訳】

事業区分	項目	金額(円)	摘要
1 萬鉄祭記念式典	謝礼	3,000	東和中生徒鉄人独語朗読謝礼（図書券）
	交通費・接待費	87,000	遺族招聘旅費（2名1泊2日）、昼食会経費
	事務費	11,220	消耗品、献花用生花、郵便料
	広告料	21,600	新聞広告料
	賃金	74,000	環境整備（草刈等）・会場設営・撤去費
	計	196,820	
2 児童等写生会 作品展示会	報償費	19,251	参加記念品（エコバックに自作品をプリント）
	画材費	42,359	画用紙、カラートナー、アイロンプリント用紙
	食糧費	7,620	指導者昼食代
	事務費	6,036	入賞作品賞品・参加記念品送料
	計	75,266	
事業費合計		272,086	
3 収入	参加費	33,500	写生会参加費500円×67人
	会費・繰越金・雑入	13,660	賛同者3,002、前年度繰越10,658
	負担金	240,000	花巻市負担金
収入合計		287,160	15,074円は次年度へ繰越